



# かけはし

宇部市立楠中学校だより 第11号

令和8年(2026年)1月22日(木)

<http://www.ube-ygc.ed.jp/ksj/>



## 「信は力なり」～「信じられる自分」になることの大切さ～

とても寒く、身が引き締まる天気のもとで、令和8年(2026年)という新しい年の学校生活が始まりました。楠中生、保護者のみなさま、地域のみなさま、明けましておめでとうございます。今年も楠中学校の取組にご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

さて、今回は1月8日(木)の始業式における校長式辞を紹介します。

○新しい年を迎えると、誰もが「よし、今年もがんばるぞ」と新たな気持ちになるものです。ここにいる一人ひとりが、今年の自分の目標を自分の心の中に立てたと思います。

○みなさんには、今年も楠中生としての「誇り」と「自覚」、「楠中魂」をもって、元気に笑顔で、そして仲良く学校生活を送ってほしいと願っています。

○「信は力なり」という言葉は、高校ラグビーの名門、伏見工業高校の総監督である山口良治さん、私たちの世代ではドラマ「スクールウォーズ」の泣き虫先生でおなじみですが、その先生の言葉です。

○とても短い言葉ですが、深い意味のある言葉です。簡潔に言うと「仲間を信じ、自分を信じることが力になる」ということになるでしょうか。

○私の尊敬する先輩教員が高校2年生の時に伏見工業高校ラグビー部の試合を花園で実際に観戦した時の話です。伏見工業高校の保護者の方から次のような話を聞いたそうです。

「仲間を信じることも大切だけど、仲間に信じてもらえる自分になることが最も大切だよ。そうでないと自分にパスなんか回ってこない。自分を信じるができるようになるために練習を重ねるしかない。」と・・・

○楠中生のみなさんは「信じられる自分」になっているでしょうか。人に対しても、自分に対しても、自分のやることに対しても、信じ切ること、最後まで本気でやり遂げることが「自分を信じる力」となり、その力がいざという時に自分の背中を押してくれるものと私は思います。

○やると決めたからにはどこまでも信じて、信じ切ってとことん今やるべきことを追求していきましょう。辛い時に心の支えになるものは「努力した過去の自分」です。

○「俺は弱い。でも・・・俺達は強い。」この言葉はある中学校のサッカー一部の部訓です。人間、自分一人だけでは弱いけれど、「仲間」がいるとがんばれるものです。「仲間のことを想う」「仲間を大切にする」生きていくうえで大切な力です。だからこそ、「受験は団体戦」です。

○最後に3年生は受験や新しい自分の道に向けて、2年生はいよいよ学校の核となる学年に向けて、そして、1年生は後輩が入り、先輩となり、学校に元気を生む学年に向けて、一人ひとりが自覚をもち、集団で前を向く、強くたくましい「楠中魂」をみせてほしいと思います。

○それぞれの学年にとって、とても大切な3学期「過去を変えることはできないが、自分と未来は変えることができる」今年のみなさんの活躍を楽しみにしています。  
やればできる!君たちならできる!

## 人生最初の試練に立ち向かえ! ~やればできる!君たちならできる~

人生でいちばん応援してもらえるのは  
受験の時かもしれない。

受験生はいい顔している。

君はまだ気づいていないだろうけど。  
バスの中塾の帰り道背負ったことのない  
大きな期待や重圧や不安と戦っている。  
お守り 弁当 手編みのマフラー  
家族や教師や友達に背中を押されながら  
目標に向かって歩いている。  
受験生は幸せだと思う。  
君はまだ気づいていないだろうけど。

【2009年 朝日新聞広告から】

さあ、ひっくり返そう

大逆転は起こりうる。

わたしは、その言葉を信じない。

どうせ奇跡なんて起こらない。

それでも人々は無責任に言うだろう。

小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。

誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。

今こそ自分を貫くときだ。

しかし、そんな考え方は馬鹿げている。

勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。

わたしはただ為す術もなく押し込まれる。

土俵際もはや絶体絶命。

【西武そごうの広告から】

令和8年がスタートしたばかりのような気がしますが、すでに1月下旬です。「1月は行く 2月は逃げる 3月は去る」と言うように、あっという間に時が経っていきます。

3年生にとっては、「義務教育最後の学期」で、人生最初の試練ともいわれる「高校入試」が始まっています。私立高校の入試は1月23日(金) 今日で最後となり、山口県の公立高等学校の一般入試は3月5日(木)で、入試まであと42日となります。

そこで、私は1月に入ってから、3年生に「応援メッセージ」を送るために毎日「明日の元気のために」を書き、校長室前に貼っています。

上側の2つの文は3年生の入試前によく話のネタとして使っていたものです。今は受験勉強が辛く、大変で、自分のことを客観的に見ることはできないかもしれませんが、入試から逃げずに立ち向かっている3年生の顔は本当にすてきで、「いい顔」をしています。そして、多くの人たち(保護者・先生方・後輩・地域の方)から「応援」されています。がんばってください。

右側の「さあ、ひっくり返そう」は普通に読むと受験勉強に大変苦しみ、土壇場に追い込まれている心境を表しています。受験生であったかつての私はそんな心境になったことが多々あります。しかし、諦めず、粘り続けると、「大逆転」が起こるのです。右の文を下(土俵際もはや絶体絶命)から上へ読んでみてください。「勇気」が湧いてくるはずですよ。諦めなければ、やり続ければ、「大逆転」が起こりうるのです。

入試において「弱気は最大の敵」です。弱気にならない自分であるために大事になってくるものは、「努力を続けた過去の自分」です。公立高等学校の入試まであと42日。入試前日に「過去の自分」に後悔することがないようにがんばりましょう。やればできる!君たちならできる!

「星空の団結」やっていますか。毎晩9時に星に願いましょ。「みんながんばっている。自分もがんばるぞ。」です。「受験は団体戦」です。みんなで人生最初の試練を乗り越えましょ。やればできる!君たちならできる!私は3年生が卒業証書授与式を迎えるまで、「明日の元気のために」を書き続け、応援し続けます。